

受賞者のその後の取組（平成 26 年現在）

平成22年度 文部科学大臣賞 受賞	受賞者名
	京都市立 蜂ヶ岡中学校
	所在地
	京都府京都市
	受賞テーマ
	あじ祭（あじさい）ぶんぶんワールド エコ活動 ～環境都市・京都を象徴する環境活動を学校から発信～
1. 活動継続 あり	
	<ul style="list-style-type: none">• アルミ缶の回収• プルトップの回収• 古紙回収BOXの設置• 雨水タンクの活用• くぬぎ林の落ち葉による腐葉土の作成・活用• マスコット「エコちゃん」の活用
2. 活動の広がり なし	
	元々が多岐に渡って取り組んでおり、これ以上の取組の拡張はない地域の支援は減らないことが、広がりとも言える。
3. 活動の進化 なし	
	生徒は毎年代わっており、取組経験のある生徒が増えている。新たな進化ということは特になし。
4. 今後の計画	
	<ul style="list-style-type: none">• アルミ缶・プルトップの回収の継続• 腐葉土を活用してゴーヤ等を育成し、夏場の緑のカーテンとして活用する。雨水タンクを活用してみずやり。• エコちゃんの着ぐるみを活用してのエコについての情報発信。
5. その他	
	特になし

（次頁に表彰概要掲載）

【表彰概要】

同校では、環境宣言「私たち蜂ヶ岡中生徒は、環境を守り、環境を創り、環境とともに美しい心を培っていきます」を発し、様々な環境活動を行っている。

<あじ祭（あじさい）ぶんぶんワールド>

毎年、地域の商店街の協力を得て、環境の取り組みと文化祭を連動した催事「あじ祭（あじさい）ぶんぶんワールド」を開催している。同催事で行うフリーマーケットの売上金は、アルミ缶・古紙回収の収益金と合わせて国際支援活動の支援や地域・学校の緑化に役立っている。

<アルミ缶のリサイクル>

地域の方が学校に持参したアルミ缶を環境委員が定期的に潰し、整理・管理している。また回収ステーションになっている地域のスーパーに週一回、生徒が回収に出向いている。

<古紙のリサイクル>

校内に古紙回収ボックスを設置し、コピー用紙、新聞、雑誌、段ボールに分けて回収。

<校内剪定木の徹底した再利用と自然循環>

校内のくぬぎ林から出る大量の落ち葉は生徒が集めて腐葉土として校内の花植用に使用。また、剪定木はしいたけ栽培の原木に使い、栽培に4年使った原木は校内で飼っているかぶと虫のえさに活用するなど、剪定木や落葉の校内自然循環を行っている。

また、生徒会で同校のマスコット「エコちゃん」の着ぐるみを製作し、校内外のイベントに参加して親しみやすく3Rへの協力を呼びかけるなど、生徒自身が、環境活動を楽しみながら自主的に行っていることが特長である。



あじさい祭で配るうちわは、家庭で退蔵しているものを直してリユース



くぬぎの廃材を使ってエコベンチを製作